

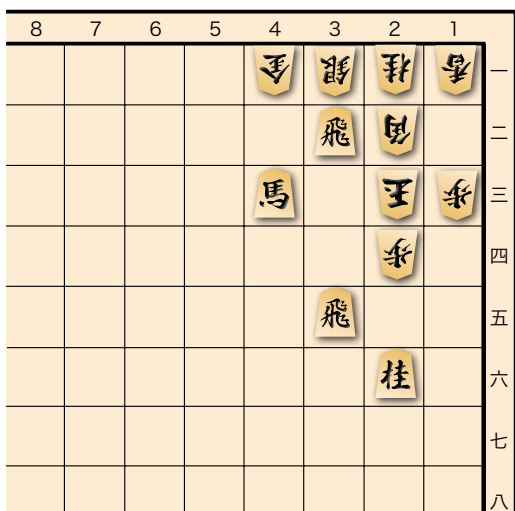
次の一手

答え合わせ

〈第28局〉

詰将棋 問題 7手詰 (10分で2~3級)

ヒント 2枚の飛車は捨て駒



持駒 〓なし

〈監修〉中田功八段

詰将棋 答え

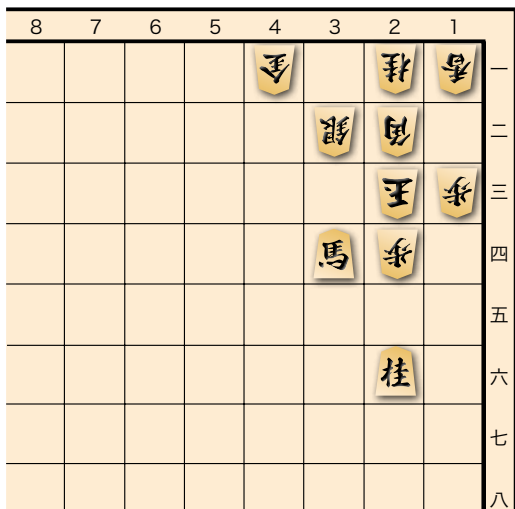
▲3四飛引成 ▽1二玉 ▲2三龍 ▽同玉 ▲3二飛成
▽同「金・銀」 ▲3四馬までの7手詰め

中田 功 (なかた・いさお)

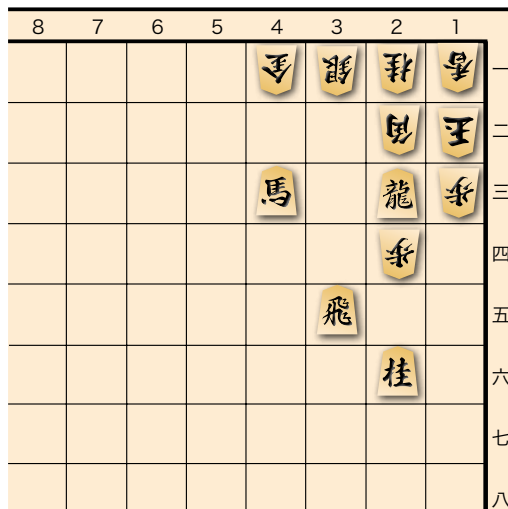
1967年7月27日生まれ。福岡市出身。
第5回中学生名人戦優勝。80年、師匠(故)大山康晴15世名人門下として奨励会六級、83年初段、86年4月四段、90年3月五段、98年8月六段、2005年10月七段、11年現役勤続25年表彰、19年八段。弟子に佐藤天彦名人。人生の指針となる言葉「一期一会」



詰め上がり図



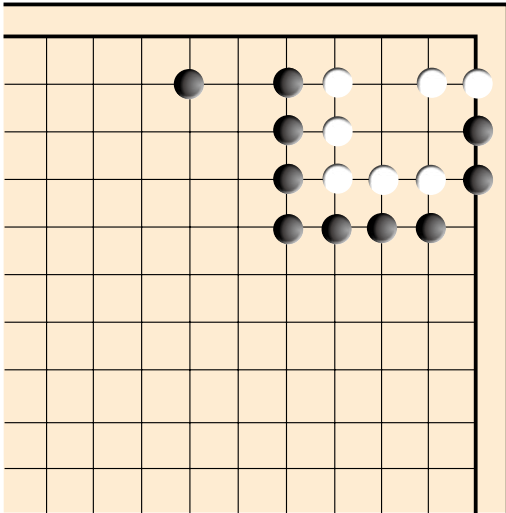
途中図 (▲2三龍まで)



(解説) 初形、先手3二飛が居なければ▲3二飛成△同銀▲3四馬まで3手詰。このため「じゃま駒消去」の手筋を用いて3二飛を消す。

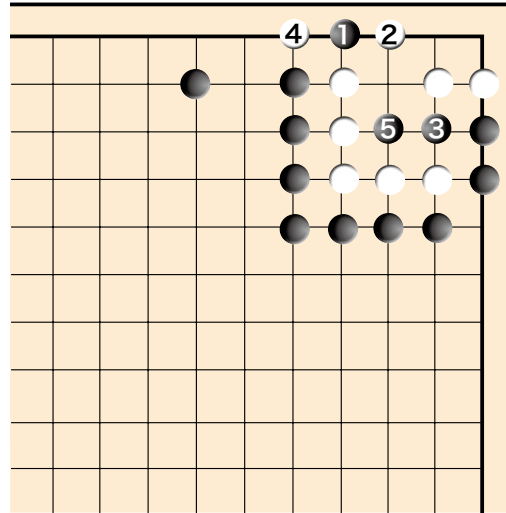
詰碁 問題 黒先白死 (2分で3級)

ヒント ダメヅマリで白の眼を取ります



〈監修〉新垣朱武九段

詰碁 答え



黒1から3が好手順で白4には黒5で白の眼を見事に取りました。白はダメヅマリのため、黒3に対して白5と打てません。

新垣 朱武 (あらかき・しゅん)

1970年12月25日生まれ。沖縄県那覇市出身。

1981年小学生名人、85年入段、2009年九段。太田清道九段門下。6歳頃、父の影響で碁を覚える。7歳で父の転勤で大阪へ。7—8歳ごろ本格的に碁を始めるため、関西棋院の門をたたく。囲碁は世界に広がるゲーム。コミュニケーションツールに最適です。

人生の指針となる言葉「継続は力なり」「初心忘るべからず」

